



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月28日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東  
 コード番号 2124 URL <http://corp.jac-recruitment.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松園 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	3,274	32.2	1,186	78.9	1,187	78.9	799	94.7
27年12月期第1四半期	2,477	13.4	663	△3.1	663	△3.2	410	△1.4

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 799百万円( 94.7%) 27年12月期第1四半期 410百万円( △1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	19.82	—
27年12月期第1四半期	10.18	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	8,298	6,805	82.0
27年12月期	9,233	6,790	73.5

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 6,805百万円 27年12月期 6,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	19.00	19.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,310	18.6	1,799	10.3	1,800	10.3	1,205	18.5	29.87
通期	13,442	20.0	4,052	15.1	4,054	15.0	2,663	47.0	66.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	41,292,000株	27年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	944,240株	27年12月期	944,178株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	40,347,789株	27年12月期1Q	40,347,822株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループのセグメント区分は、経営単位である拠点・会社別に記載しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、主に海外情勢の不安定要因により景気の先行きに不透明感がみられたものの、企業の求人意欲は衰えず、2月の有効求人倍率は1.28倍という24年ぶりの高水準になりました。こうした経済環境の下、当社グループの人材紹介事業は、ターゲットとする中高額帯並びに専門性の高い求人の成約が順調に推移し、また、売上高も前年度第4四半期の好調な成約を受けて期初の予想を上回る進捗となりました。

当社グループの人材紹介事業は、高額案件に対応できる経験豊富なコンサルタントの確保に向け、その採用と教育に注力しております。今年度は特に、「Quality, Quality & Quality with Quantity」をキーワードとして、「結果(Results)」「マーケット(Market)」「上質な仕事(Philosophy)」の3つの「質(Quality)」に重点を置き、これらを「量(Quantity)」を伴いつつ向上させることで、顧客の満足度を高めていくことを目標としております。

このために、社員の教育体制はさらなる充実を図り、人材紹介事業の現場からベテランコンサルタントを異動させ担当要員を倍増いたしました。研修内容につきましても、社員の階層ごとに分けてカリキュラムの高度化を図っております。また、顧客満足度の確認につきましては、ご登録者への面談後アンケート等を継続的に実施して、全社的なサービスレベルの向上に取り組んでおります。

一方、経費につきましては当初の予算内で推移しており、今年度におきましても、開示いたしました連結業績予想値を実現の上、前年度以上に安定した財務基盤を形成して、さらなる株主還元を図る所存であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,274百万円(前年同期比32.2%増)となりました。セグメント別売上高は、東京本社が1,940百万円(同32.9%増)、横浜支店が242百万円(同41.0%増)、名古屋支店が220百万円(同37.2%増)、大阪支店が580百万円(同38.3%増)、京都支店が63百万円(同0.4%増)、神戸支店が66百万円(同17.5%増)、JAC Internationalが86百万円(同50.4%増)、シー・シー・コンサルティングが72百万円(同15.9%減)となっております。

利益面では、営業利益は1,186百万円(前年同期比78.9%増)、経常利益は1,187百万円(同78.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は799百万円(同94.7%増)となりました。セグメント別損益は、東京本社が692百万円(同58.8%増)、横浜支店が122百万円(同89.9%増)、名古屋支店が93百万円(同92.8%増)、大阪支店が229百万円(同103.8%増)、京都支店が12百万円(同19.9%減)、神戸支店が19百万円(同30.2%増)、JAC Internationalが22百万円(前年同期は△8百万円)、シー・シー・コンサルティングが△3百万円(前年同期は△19百万円)となっております。

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
東京本社	1,940	132.9
横浜支店	242	141.0
名古屋支店	220	137.2
大阪支店	580	138.3
京都支店	63	100.4
神戸支店	66	117.5
JAC International	86	150.4
シー・シー・コンサルティング	72	84.1
合計	3,274	132.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
1. 人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	1,289	149.3
消費財・サービス業界	731	127.3
メディカル・医療業界	533	116.4
I T・通信業界	349	131.3
金融業界	283	132.4
その他	14	102.7
人材紹介事業 計	3,202	133.9
2. 求人広告事業		
求人広告事業 計	72	84.1
合計	3,274	132.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金1,021百万円減少、繰延税金資産(流動)175百万円減少、売掛金139百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて935百万円減少の8,298百万円となりました。

負債につきましては、未払費用723百万円減少、未払法人税等612百万円減少、賞与引当金347百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて950百万円減少の1,493百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益799百万円、剰余金の配当784百万円により、前連結会計年度末に比べ15百万円増加の6,805百万円となり、自己資本比率は82.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、第2四半期(累計)、通期ともに平成28年1月29日開示の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,504	6,483
売掛金	619	758
貯蔵品	0	1
前払費用	77	98
繰延税金資産	374	199
その他	12	5
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	8,587	7,545
固定資産		
有形固定資産		
建物	179	190
減価償却累計額	△114	△117
建物(純額)	65	72
工具、器具及び備品	179	193
減価償却累計額	△134	△138
工具、器具及び備品(純額)	45	55
リース資産	6	6
減価償却累計額	△0	△0
リース資産(純額)	5	5
有形固定資産合計	116	133
無形固定資産		
のれん	142	138
商標権	0	0
ソフトウェア	18	22
その他	1	0
無形固定資産合計	162	161
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	362	453
長期前払費用	0	0
繰延税金資産	3	3
長期未収入金	9	9
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	366	458
固定資産合計	645	753
資産合計	9,233	8,298

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
リース債務	1	1
未払金	221	220
未払費用	909	186
未払法人税等	836	223
未払消費税等	325	210
預り金	50	164
前受収益	59	65
賞与引当金	-	347
株式給付引当金	-	32
解約調整引当金	34	35
流動負債合計	2,438	1,488
固定負債		
リース債務	4	4
固定負債合計	4	4
負債合計	2,443	1,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	1,569	1,569
利益剰余金	5,427	5,442
自己株式	△825	△825
株主資本合計	6,790	6,805
純資産合計	6,790	6,805
負債純資産合計	9,233	8,298



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	2,477	3,274
売上原価	54	124
売上総利益	2,422	3,150
販売費及び一般管理費		
役員報酬	92	80
給料及び手当	699	777
法定福利費	143	153
退職給付費用	20	25
賞与引当金繰入額	299	347
株式給付引当金繰入額	-	32
役員退職慰労引当金繰入額	0	-
貸倒引当金繰入額	0	-
地代家賃	137	158
減価償却費	13	17
のれん償却額	15	3
広告宣伝費	134	145
その他	201	224
販売費及び一般管理費合計	1,759	1,964
営業利益	663	1,186
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	0
設備賃貸料	0	0
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	-
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	663	1,187
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	663	1,187
法人税、住民税及び事業税	90	212
法人税等調整額	162	175
法人税等合計	253	388
四半期純利益	410	799
親会社株主に帰属する四半期純利益	410	799

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	410	799
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	410	799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410	799
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高											
外部顧客への売上高	1,460	172	161	419	63	56	57	86	2,477	—	2,477
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	—	—	—	—	—	2	2	△2	—
計	1,460	172	161	419	63	56	57	88	2,480	△2	2,477
セグメント利益又は損失(△)	435	64	48	112	15	14	△8	△19	663	—	663

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. シー・シー・コンサルティングの報告セグメントには、のれん償却額15百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								報告セグメント計	調整額	合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	シー・シー・コンサルティング			
売上高											
外部顧客への売上高	1,940	242	220	580	63	66	86	72	3,274	—	3,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	4	4	△4	—
計	1,940	242	220	580	63	66	86	76	3,278	△4	3,274
セグメント利益又は損失(△)	692	122	93	229	12	19	22	△3	1,187	—	1,187

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. シー・シー・コンサルティングの報告セグメントには、のれん償却額3百万円が含まれております。